
恋愛布告/カカシカ

深海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋愛布告／カカシカ

【NNコード】

N6620A

【作者名】

深海

【あらすじ】

Bし注意。公園でイチャバラを読むカカシの前に現れるシカマル。

公園のベンチでイチャパラを読んでいるカカシ。

だが、いつものにやけた顔は見られず本にも集中できていないうちで、何度も前方に視線を向ける。

そこには地面上あぐらをかいて座り、頬杖をついてじっとカカシを見つめるシカマルがいた。こう見られていては、集中などできないだろう。

だがそわそわと落ち着きがないのには、他にも理由があった。

「好きなんだけど」

カカシの前に突然現れたシカマルがこう言つたのは、かれこれ三十分程前。そして何も返事をしないカカシの前に、シカマルが座り込んでしまい、今に至る。

「なあ、聞こえてないわけねーよな好きだつて言つてんだけだ」

カカシは内容などさつぱり入ってこなく、ただ規則的にページを捲つていただけの本を閉じた。

「あのねえ……俺男だよ?」

「知ってる」

「大分年上なんだけど」

「わかつてる」

「えーと……」

他に何かないかと必死に考えるが適當な言葉は出てこず、言葉に詰まつたカカシは再び本を開いた。

「あ……」

だが、すぐにシカマルに取りあげられてしまい、横に置かれる。カカシは真っ直ぐなシカマルの目を見れずに、視線を泳がせた。

カ

「なあ、なんで動搖してんだ?」

「これは……」

「なんではつきり断らねーんだ?」

「それは……」

まだ成人もしていな子供に詰め寄られ、冷や汗すらかくカカシ。

「断らないってことは、脈ありって思つていいんだよな?」

カカシが黙つて頷くと、シカマルは口端を吊り上げて笑い、カカシに背を向けた。

「じゃあ今日は帰るこれから覚悟しとけよ

シカマルがひらひらと手を振りながら行つてしまつと、カカシは大

きく息を吐き力が抜けたようにベンチに横になつた。

「俺つて大人のくせに臆病だね」

クスクスと小さく笑うカカシ。彼を思わせる青い空と白い雲を見上げて、嬉しそうに微笑んだ。

fin

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6620a/>

恋愛布告/カカシカ

2010年10月20日19時55分発行